

今後の議論の方向性について

令和 6 年 2 月 2 9 日
総務省自治財政局財務調査課

今後の議論の方向性について

- 前回研究会での議論から、地方公会計情報を一層活用していくために深掘りすべき「データ活用を見据えた課題の改善」や「データ整備の効率化」といった論点が示されたところである。そこで、あらためて活用の目的を整理し、そのために必要な短期的な改善はもちろんのこと、中長期的な今後の地方公会計のあり方を示す整理をしてまいりたい。

I 地方公会計の活用に向けた改善

資料2-1

1 財務書類本体の情報充実

資料2-2

- 一層のアカウントビリティ確保等の観点から、財務書類の情報充実に検討

2 固定資産台帳の情報充実

資料2-3

- 公共施設マネジメントなど具体的な活用目的を意識した固定資産台帳の情報充実・精緻化について検討

II 地方公会計の整備及び活用における効率化

主に次回以降検討

1 短期的な効率化策

- 財務書類整備に係る優先順位付けの明確化や、現状の課題を踏まえた積極的な整備支援などについて検討

2 中長期的に目指すべき姿

- 「データの持ち方」の改善により、整備作業の効率化だけでなく、活用可能性の向上が期待されるところであり、その理想像を模索・検討

➡ 自治体の現状把握

資料3

自治体の現状を把握するとともに、データ整備の観点でDX化が進む先進自治体から御報告いただく場を設けることとしてはどうか。

(先進自治体がどのような理念や目的に基づき、データを整備しているのか、ヒアリングを実施)